



花とみどり 第13号

令和8年9月1日
飯塚市立庄内中学校
校長 岡松 範諭

「いよいよ2学期がスタート」

長かった夏休みが明け、いよいよ2学期がスタートしました。生徒たちの元気な声と笑顔が学校に戻り、活気あふれる日々が再び始まったことを大変嬉しく思います。

■ 2学期は1年間の「メインステージ」

2学期は、何事にもじっくりと挑戦できる、学校生活においては1年間の「メインステージ」と言える、可能性に満ちた大きく飛躍できる時期です。文化祭や生徒会役員改選、そしてイルミネーションなど、大きな学校行事や新しい取り組みが数多く予定されています。これらはすべて、生徒たちが自分の殻を破り、新しいことに挑戦する絶好の機会です。生徒の皆さんには、どうか失敗を恐れることなく、やってみようかなと思ったときには、思い切ってチャレンジしてほしいと願っています。



また、2学期は、自分自身を成長させるために、じっくりと物事に取り組むことができる大変良い時期でもあります。例えば、たくさんの本に触れて読書の秋を満喫したり、新チームとなった部活動で新たな目標を設定し、懸命に汗を流したり。一人ひとりが個人的な目標をしっかりと持ち、自分磨きに取り組んでくれることを期待しています。2学期の終わりを迎える頃、皆さんがどれほど大きくたくましく成長しているか、今から楽しみでなりません。

■ チャレンジの土台となる「魔法の言葉」

学校全体としては、生徒たちが安心して多くのことにチャレンジできるよう、「挨拶」の充実を土台とした学校づくりを進めていきたいと考えています。

2学期の始業式で、私は生徒たちに一つの提案をしました。それは、「庄内中学校に関わるすべての人が笑顔になる挨拶に取り組もう」ということです。

挨拶は、一人ひとりの存在を認め、相手を笑顔にし、一日を明るくすることができる「魔法の言葉」です。本校には素晴らしい「あいさつ大好き宣言」という取組があります。相手の目を見て、声を届ける。それだけで「あなたを大切に思っていますよ」「今日も応援していますよ」という温かいメッセージが伝わります。この挨拶を通して良好な人間関係を築くことこそが、温かく、失敗しても何度でも挑戦できる「安心・安全な学校」を創る原動力となります。



更に、始業式では、みんなが笑顔になる挨拶を実践するために、次の2つの視点を大切にしたいと伝えました。

- 【自律の視点】誰かに言われてやるのではなく、自分から積極的に挨拶をすること。
- 【共生の視点】相手の喜びを自分のこととして感じ、思いやりのある挨拶を交わすこと。

誰かに任せるのではなく、「チーム庄内」として庄内中学校に関わるみんなで、「飯塚で一番素敵な挨拶ができる学校」を目指していきたいと考えます。

生徒たちが失敗を恐れず多くの行事に挑戦し、一步一步着実に成長していくことができるよう私たち教職員も全力でサポートしてまいります。

保護者・地域の皆様におかれましても、2学期も変わらぬご理解と温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

～全国学力・学習状況調査「生徒質問紙」の結果から見える、子どもたちの強みと課題～

夏休み中に、4月に実施されました「全国学力・学習状況調査（3年生）」の結果が返ってきました。庄内中の生徒たちの素晴らしい「強み」と、今後学校とご家庭が手を取り合って取り組んでいきたい「課題」について分析をしましたので、お伝えします。

✳ 庄内中生の「強み」（輝く自信と高い学習意欲）

■抜群の自己肯定感と、学校生活の充実

「自分には、よいところがある」と答えた生徒は54.2%（全国41.0%）、「学校に行くのが楽しい」と答えた生徒はなんと90.3%に達します。この結果より、生徒たちは、ご家庭での温かい愛情に支えられ、自信を持って学校生活を送っていることがうかがえます。感謝いたします。

■数学を中心とする高い学びの意欲

特に、数学が「好き」と答えた生徒が74.7%（全国56.1%）、更に数学が「得意」と答えた生徒が68.7%（全国47.6%）に上り、授業への高い理解度と粘り強さを見せてくれています。

🔊 これからの「課題」（共に育む安心感と生活習慣）

■「違っていても安心」と思える学校づくり

90.4%の生徒が「友達に満足している」と回答をしているにも関わらず、「違う意見を言っても否定されない」と感じる生徒は47.0%にとどまりました。周囲への気遣いゆえの慎重さもありますが、どんな考えも大切にされる「安心・安全な学校づくり」を目指して、これからも学校では、全力を注いでまいります。

■ご家庭での「スマホ・学習ルール」の見直し

平日に「授業以外で全く勉強をしない」と回答した生徒が19.3%、更に土日に「全く勉強をしない」と答えた生徒は24.1%でした。一方、一日のスマートフォンや動画視聴が「4時間以上」という生徒が33.7%に上っています。生活リズムを整え、学習習慣の定着を目指すためにも、ぜひご家庭で「わが家のスマホルール」や「机に向かう時間」について、お子様と話し合ってみてください。

今後とも、学校と家庭が車の両輪となり、生徒達の自信を未来へつなげて行けるよう取り組んでいきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。